

しあわせ

vol.515

2016年1月

H a p p i n e s s

謹んで
新春のご挨拶を申し上げます



法律相談

労働相談

暮らし相談

子育て

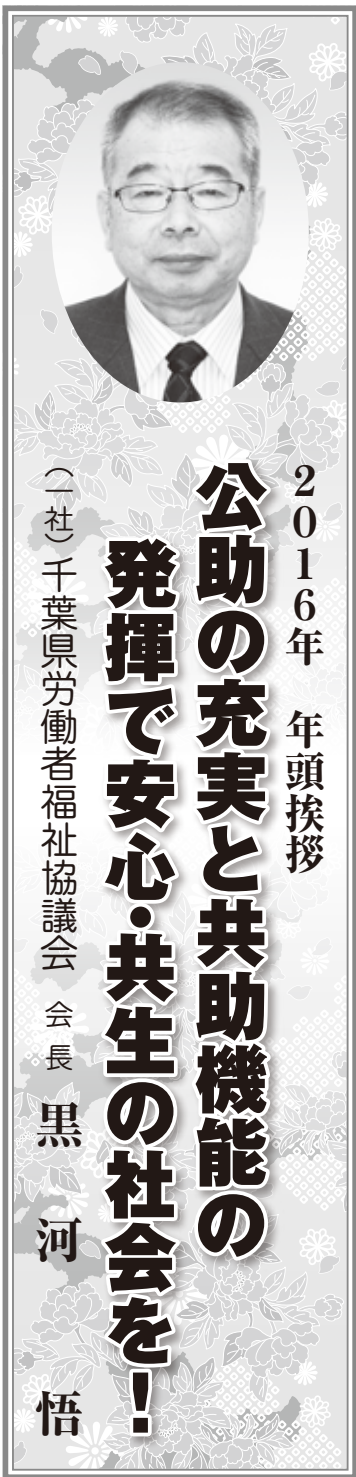
多重債務

●ひとりで悩んでいませんか?

暮らし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141



2016年 年頭挨拶

公助の充実と共助機能の 発揮で安心・共生の社会を！

(社)千葉県労働者福祉協議会 会長 黒河 悟

新年明けましておめでとござい
ます。年頭に当たり、千葉県労働者
福祉協議会を代表して新春のご挨拶
を申し上げます。

安倍政権になって3年が過ぎまし
た。「大胆な金融政策、機動的な財
政政策、民間投資を喚起する成長戦
略」という3本の矢と称した政策に
より、確かに株高、円安にはなりま
したが私たち勤労国民の暮らしは良
くなったでしょうか？経済成長は足
踏みしていますし、先の政府の発表
でも非正規雇用はとうとう勤労者の
4割を超えてしまいました。このよ
うな状況下で貧困と格差はますます
拡大していると「言わざるをえません。
若者には、子供の貧困率が16・
3%（325万人）、奨学金という

名のローンの問題が、働き盛りの壮
年には、非正規の増加や自死が死亡
原因第一位の現実が、高齢者には生

活困難な年金や嵩む医療費と相まっ
て老後破産といわれる事態がじわじ
わと押し寄せて来ています。その一
方、少子・高齢化から人口減少社会
へと日本は一挙に進もうとしていま
す。まさに、持続可能な社会を創れ
るか否かの正念場の時です。

しかし、持続可能な社会を創り出
すための諸課題は一朝一夕に実現で
きるものではありません。20年、30
年という積み重ねられる年月が必要
です。私たちはもう一度そのような
大きな視点に立って自らの運動、活
動を組み立てていかななくてはなりま
せん。本年は、是非皆さんとそのよ

うな意識を共有化して、労働運動・
労働者自主福祉運動を進めていけ
らと思うところです。

昨年から中央労福協の音頭で「奨
学金問題」の取り組みを開始しまし
た。これも、学生の2人にひとり
奨学金を借り、就職と同時に平均
300万円の借金を背負って社会に
出ざるをえないという現実や延滞者
が30万人以上も出ている問題を一つ
ひとつ改善していくことはもちろん
のこと、持続可能な社会を作る為
は若者が「希望」を胸に生きていけ
る社会でなくてはならないからに他
なりません。

高卒での就職先が激減し、非正規
の不安定雇用が増大している雇用問
題、それは若者の未婚問題にも直結

し、少子化、人口減少へと繋がり、ま
た社会保障制度の基盤を脆弱なもの
にしようとしています。持続可能な
社会を創る為に、貧困の連鎖、雇用
の劣化、社会的孤立を克服するため
に全力を挙げようではありませんか。
そのために、私たちは「公助機能」
の一層の強化を求める運動と労働者
自主福祉事業団体、協同組合との連
携による「共助機能」の発揮を強め
る運動を活動の両輪として全力を尽
くしていく決意です。

最後になりますが、労金や労済、そ
して労福協など労働者自主福祉事業
団体は、働くもの、労働者のニーズ
に応えるために労働組合自らが作り
育ててきたものです。連合をはじめ
とした労働組合が、今日の働く者の
ニーズに応えるために、労働者自主
福祉運動の牽引車の役割をより積極
的に担っていかれることを心より期
待しています。新しい労働者福祉の
時代を共に切り拓きましょう。



理念を忘れずに、 そして現実に対応を！

中央労働金庫千葉本部
本部長 日 高 英 彦

新年明けましておめでとうございます。

皆様方につきましては新たな年が明けて気持ちもリセットして大きな自らの目標に向け、志を立てていることと思います。中央労金も働く者の福祉金融機関としての基本理念を強く心に刻みながら、少しでもこれまで未開であったであろう領域に向かって前進していく事を新年にあたりお誓い申し上げたいと考えています。

中央労働金庫は、自らの組織が存在する為に、勤労者に寄り添った確固たる理念を確立している。と私自身自負しています。当然の事としてその原点を忘れることなく利用者全員にご理解頂くように努めていきます。

また、1都7県が統合した中央労金の中で

一番初めに労金運動を胎動させたのが千葉であることについても私は繰り返して声を発していきたいと思っております。当時の先達の時代背景やその苦勞や辛酸を思い馳せ、その苦しい状況を突破していった信念と行動力に敬意を表してその運動や取り組みを継承していく事を心に刻んでいく事が、現在において縁があつて労金に携わることになった人間の使命であると強く感じています。

もう一方では利用者のリアルなニーズに対応していく事も私たちに課せられた重要なミッションでもあります。少しでも私たち金融機関

の利便性を高めて「労金は使い勝手がいいなあ」と思われなければ、理念だけ立派でも事業体としては未だ成長の道半ばと言わざるを得ません。

労金職員は会員職場に直接伺つて相談業務や提案活動を実施します。これは他の金融機関に無い濃密な関係性に構築された高度な信頼によつて成り立つ労金独自のビジネスモデルです。その強みに一層の付加価値を見つけて組織強化を図つていかなければなりません。

そのために具体的な方策を実施してまいります。

今年度末までに新規のATM機ネットワーク（JREビューカードATM）を強化するとともに、既存ネットワーク（イオン銀行では、現金の払い出しに加えて入金も可能になります）に関しても今までの利用日数や利用時間の拡大を実現し、利便性の向上を図ります。こうした施

策につきましては会員との推進機構を通じて職場組合員に対して広報宣伝し、周知を図ります。

また、2号会員である生協組合員向けに店頭に来店することなくホームページ若しくはフリーダイヤルからの口座開設が出来るように制度を整備いたしました。加えて審査基準も緩和することとして融資謝絶案件の縮減に勤めます。結果として利用者の拡大を実現していけると確信しています。

こうした内容については生協専用広報誌「O・OP知っ得情報」を生協会員のご自宅に漏れなく配布する事により周知の徹底を図ってまいります。

上述のように、これまで以上に働く者全ての立場に立った協同組織福祉金融機関を体現できるべく努力していく所存ですので皆様方の一層のご指導・鞭撻を頂戴いたたく宜しくお願ひ申し上げます。

盤の確立」の達成をめざして取り組んでおります。

千葉県本部においても「組織運営体制の見直し」をはじめとした協力団体の皆さまとの関係強化、組合員の皆さまの利便性の向上などの施策を進めてまいりました。

今後全労済の理念である「みんながたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を求め、役職員が一丸となって運動の前進と事業の推進に全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



魅力的な保障の生協を目指して

全労済千葉県本部
本部長 細 根 洋

新年明けましておめでとうございます。旧年中は全労済運動ならびに事業推進にご協力を頂き、あらためてお礼申し上げます。

近年は地球温暖化の影響と考えられる様々な自然災害が多発し、とくにゲリラ豪雨や台風の巨大化などは大きな脅威になっています。昨年も台風15号により九州地方で大き

な災害が発生し、その後の台風18号では茨城・栃木両県でも大きな被害となりましたが、全国からの支援等により昨年末には現場調査活動もほぼ終了することができました。

昨年「火災共済」は事業開始60年を迎え、「住まいる共済」の愛称のもと構造区分の改定や新たな特約プランなどを設け、より「住

まいに合ったプランが選べる」ようになりましたので、自然災害共済とあわせてご検討いただければ幸いです。

また本年2月には「マイカー共済」の制度改定も予定しており、この間協力団体の皆さまを中心に改定内容を説明させていただいております。あらためてご理解とご協力をお願い申し上げます。

これまでご報告を申し上げますように、全労済では2014年度から2017年度まで「中期経営政策」を進め、最重要目標である「事業の回復」、「常に健全な事業基



安心して暮らせる 地域社会のために一層の努力を

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 鳥羽 治明

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

千葉県生協連には、準会員を含めて14の生協が加入しておりますが、昨年はおかげさまで、事業・組織の両面で全体として着実に前進することができ

ました。特に、地域の女性が組合員になっている地域購買生協（いわゆる「コープ」）の組合員は約106万となり、県内世帯の約4割の方にコープをご利用いただいていることになりました。

また、昨年中に、県内全ての自治体と、高齢者の見守りに関する協力協定を締結することができましたが、住み慣れ

た地域で高齢者が安心して暮らせるための取り組みは、組合員からも地域社会からも期待が高いことを実感しています。

5月には、核兵器削減に向けた「核不拡散条約（NPT）」の再検討会議がニューヨークで開催され、生協の代表も多く参加しました。こうしたことをきっかけに平和の大切さを考えさせられた年でもありました。

生協の基本は、商品やサービスの供給・共済・福祉などの事業活動ですが、こうした事業と合わせて、子育て支援・

食の安全・消費者問題・環境を守る取り組み・平和の取り組みなど多彩な活動がおこなわれており、こうした活動に多くの組合員が参加しています。

本年も、生協の基本である日常的な事業活動を更に発展させることと合わせて、様々な課題についても生協らしい取り組みを進めていく所存です。東日本大震災の被災地、被災者に対する支援も息長く続けて参ります。

関係各位の引き続きご支援ご協力を心からお願いして新年の挨拶とさせていただきます。



「働くことを軸とする安心社会」 の実現をめざす

連合千葉
会長 鈴木 光

新年明けましておめでとうございませう。皆様にとって本年が希望に満ちた年でありますようご祈念申し上げます。

まず課題のひとつは、2年前から懸念されていた所得の増加を伴わない物価上昇や産業競争力の強化のみを主眼とした規制緩和による「貧困や格差の拡大」の進行が現実のものとなっております。非正規労働者や生活保護世帯の増加、更には、消費者物価が上昇する一方で実質賃金の低下に歯止めがかからないなど、国民生活に多大な影響を

及ぼしながらも、安倍政権は国民を無視した「安全保障」や「労働者保護ルール」の改悪につながる法案を次々と強行採決しています。

政府は「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国にする」などサプライサイドに偏った成長戦略を掲げ、労働者保護ルールの改悪をはじめとした規制緩和を強引に押し進めようとしています。こうした「人を犠牲にした経済成長」は、一部の企業の短期的な利益をもたらしても、持続可能で自律的な経済・

社会の発展には繋がりません。

連合は、社会・経済の活力の原動力であり、付加価値創造の源泉である「働くこと」の価値を高め、働く者が安心して働き続けられる環境整備こそが成長戦略の核心であることを訴えています。また、短期的な利益追求に偏った企業運営から、生産性三原則（雇用確保・労使協議・公正な配分）の考え方や企業倫理を重んじる企業運営への転換を求めていきます。とりわけ、2016春季生活闘争は、労働組合の社会的責任が大きく問われる闘いであり、連合は「すべての働く者の処遇を改善」「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現！」をスローガンに掲げ、「働くことを軸とする安心社会」

の実現に向けて果敢に取り組みます。

2つめは、働く者、生活者の立場から「働く人が報われる社会」を念頭に置いた社会的対抗軸を明確に打ち出すことでもあります。私たちが主張する社会のすそ野に光をあてた政策の転換と推進ができる政治勢力が何としても必要であり、本年7月の第24回参議院議員選挙に比例代表の連合組織内候補者12名と千葉県選挙区候補者をセットで取り組みます。

連合千葉は、「変えるべきものを守り続けなければならないものは何か」柔軟性をもって変化に挑戦し、千葉県労働協の皆さんとの連携強化をはかりながら、本年も連合としての社会運動を着実に実践して参ります。



2016年頭挨拶

労働者福祉中央協議会

会長 神津 里季生

新年明けましておめでとござい
ます。

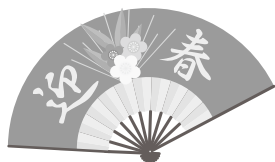
いま日本は、貧困や格差が拡大し、
社会の持続性が問われています。雇
用の劣化は加速する一方で、中間層
もやせ細り、若者・壮年・高齢者に
到るまで、現在や将来の生活に不安
を抱えています。とりわけ、次の
時代を担う若者の多くが奨学金を借
りざるを得ず、社会人としての出発
点から数百万円の借金を背負って苦
しんでいる事態をこのまま放置する
わけにはいきません。社会全体で若
者を支えていくため、給付型奨学金
制度の導入・拡充や柔軟な返済制度
への改善、教育費負担の軽減の実現
に向けて、広範な世論のうねりをつ
くっていくことが必要です。各職場・
地域において現在展開している署名
活動に対して、より一層のご支援・
ご協力をお願い申し上げます。
昨年4月に施行された生活困窮者

自立支援制度については、地域づく
りとも連動させつつ、支援の内実を
つくりあげていくことが、これから
の課題となっています。働きがいの
ある人間らしい仕事ができる職場
に変えていくことや、より包摂的な
社会へと地域を変えていくという位
置づけのもと、私たちも積極的に関
わりながら、みんなで地域に根付い
た制度へと育てていくことが必要で
す。また、地域におけるライフサポー
ト活動をさらに深化させ、様々な団
体とのネットワークを広げ、働く人
地域の人たちの拠り所としての機能
を強化していきましょう。

中央労協は、持続可能な社会を
めざし、再分配機能の強化や社会的
セーフティネットの充実など「公助」
機能の強化を求める運動とあわせて、
自ら「共助」機能の発揮を強める運
動を、車の両輪として進めてまいり
ます。これまでの労協協運動の原点

をしつかりと継承・
発展させ、労働組合
と労働者自主福祉団
体、協同組合との連
携を強固なものにし、
職場に、地域に、共
助の輪を広げていく
ことが求められてい
ます。

「連帯・協同でつ
くる安心・共生の福
祉社会」に向けて、
ともに前進しましよ
う！



本年もよろしくお願ひします

(一社)千葉県労協役員

会長 黒河 悟 連合千葉

副会長 日高 英彦 中央労金千葉本部

副会長 細根 洋 全労済千葉本部

副会長 丸山 芳高 千葉県生協連

常務理事 小柳 光廣 千葉県労協

理事 牧野 昌子 NPO法人
地域創造ネットワークちば

理事 津崎 暁洋 野田地区労協

理事 齋藤 政洋 連合千葉

理事 椎名 衛 連合千葉・
自治労千葉本部

理事 保田 武利 連合千葉・
UAセンセン千葉支部

理事 平野 盛士 連合千葉・基幹労連

理事 小川 悟 連合千葉・県私鉄

理事 清藤 昇 中央労金千葉本部

理事 中須磨吉盛 全労済千葉本部

理事 福島慎太郎 連合千葉・電機連合

理事 川野 佳道 中央労金千葉本部

理事 大木 淳 全労済千葉本部

NPO法人 子育て支援グループ「ハミングちば」
理事長 小柳 光廣



市川・浦安地区



会長 小原 信夫

巨額の政府資金を注ぎ込んだアベノミクスも経済成長率が2年連続マイナス成長に終わりました。企業は空前の利益をあげているにも関わらず、賃上げや設備投資に回さず、内部留保として巨額の資金をため込んでいます。これから春闘が始まりますが、やはり消費に回せる賃上げをして経済成長を図るしか展望は見出せません。今季の春闘での各組合の奮闘を祈念します。私たち、市川・浦安地区労働者福祉協議会は3年前に市川市からの助成金を削減されてから活動が停滞しました。今年は、運営資金がないながらも、知恵を絞り活動していくこと、1200名を超える人が参加した大自然の干潟、三番瀬で開催していた「潮干狩り」を復活させるために検討委員会を開催し議論を深めています。連休明けの5月に、ゴールデンウィークで遊びに行けなかった家族が子供連れで参加できる行事として、また、組合員の前で組合役員が汗水たらして準備をしてその姿を見ることで信頼関係が形成され、組合の強化に繋がる、そんな活動をしていく予定です。厳しい環境が続いていますが、共に頑張ります。

安房地区



会長 三浦 徹

旧年中は、安房地区労福協に対しまして、安房地区だけでなく千葉県内の仲間の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

安房地区労福協は会員の数が少なくなっておりますが、労働者自主福祉事業の役割として何ができるかを考え、運動をすすめているところです。その一つとして、昨年度は横浜方面へのバスツアーを行いました。家族連れで参加される方も多く、リフレッシュや交流の場になったと考えます。

今年度も千葉県労協の事業と地区行事をリンクさせながら、安房地区の福利厚生事業の推進をめざし、できることから一歩ずつ歩みを進めていく所存です。

皆様にとって本年が素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

野田地区



会長 津崎 暁洋

新年のごあいさつを申し上げます。

昨年の野田地区労働者福祉協議会は「勤労者バスハイク」「勤労者ボウリング大会」「将棋大会」等を開催し、多くの勤労者やその家族の皆様に参加いただきました。また、県労協の要請に基づき「フードドライブ」の活動も開始しました。家庭で不要となった品物に問題のない食料品の寄付を募り、県労協を通じて福祉施設や生活困窮者に届けるこの取り組みは、困っている人を直接的に支援できる活動であると同時に、「助け合い」や「団結」といった労働組合の基本精神の重要性を改めて私たち一人ひとりに問いかけてくれる活動でもあると考えています。

労働者を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、そのような時こそ私たちの連帯や連携が必要不可欠です。2016年も多様な価値観や日々変化するライフスタイルも踏まえ、昨年以上に各種イベントやフードドライブ活動の充実を図ってまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

匝瑳地区



会長 山崎 良夫

今後、バスハイクと社会貢献活動としての清掃ボランティア活動を計画しています。私たちは小さな協議会ですが、引き続き勤労者の安心安全な街づくりに貢献したいと考えています。

昨年は、原発再稼働の強行、安法案の強行、TPP大筋合意、非正規労働者が4割超、大企業の内部留保は300兆円を超えるとの政治経済状況に、大きな不安と怒りを感じているのは、私だけではないと思います。地域経済は低迷、生活物価は上がり、賃金は下がる、貧困と格差の拡大、少子高齢化も深刻。こんな異常な社会状況で、国民の生活安定、安心がつけられるだろうか、大いなる疑問と危機感もっています。

あけましておめでとございませう。

昨年の匝瑳市勤労協は、6月5日に総会を開き、7月12日原発事故に改めて向き合い、考える講演会「マコケンのぶっちゃけトークショー」を取り組み、87名の参加で成功することができました。

地区労福協 年頭のご挨拶

長生・茂原地区



会長 中村 正志

新年あけましておめでとございます。構成組織の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで健やかな新年をお迎えになられたこと、およびご申上げます。

長生茂原地区労福協ではスポーツ交流や募金活動等により、地域勤労者との融和を図りながら、福祉事業の推進に貢献できるよう取り組んでまいりましたが、一方、若い勤労者に福祉事業の重要性を理解いただくことや、取り組みの拡大・継承をしていくこと等、様々な課題があります。引き続き構成組織の皆さまと共に、地域の課題解決に向けた取り組みをしていきたいと考えております。

今年度も、各種交流行事や地域活動を通じながら、組織・勤労者との連帯の拡充、地域とのつながり・発展へ貢献できるよう取り組んでまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

銚子地区



会長 伊藤 隆司

新年明けましておめでとございます。さて年越しの大きな課題をお伝えし今後にご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

銚子市には当地区労福協と似た活動を推進する行政側の組織として銚子市勤労者福祉推進協議会があります。勤労者の福祉推進に関する事業を行うとし、その事務局は市が担当しており、運営は市長より委嘱された委員8名（勤労者）が携わっております。年間30万円強の補助金を得て勤労者のバスハイクやソフトボール大会、労政懇談会などを主に実施しております。

その協議会から以前より、前述の事業を当地区労福協で担ってこないかの打診が届いております。銚子市の苦しい財政事情などが背景にあると言えますが、その対応をどうするかが新年早々の大きな課題となっております。

八千代地区



会長 後藤 道宣

新年明けましておめでとございます。

今、私たちを取り巻く環境は欧州の難民問題・テロ問題、国内では高齢者の貧困による自殺や孤独死の問題、安全保障やグローバル市場主義が席捲する中で貧困と格差の拡大により勤労者にとって大変厳しい状況となっております。

このような状況から一日も早く脱却するために、本年度の「スローガンである『連帯・協同でつくる安心 共生の福祉社会』の実現に県労福協と共に活動し地区労福協としては今、行動していることを地域の皆様にも多く知って頂ける様な活動をして、地域の皆様と共に安心して暮らせる社会が実現されることを願っています。

このような活動をするにあたり皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

千葉市地区



会長 平野 盛士

新年あけましておめでとございます。

千葉市地区労福協は、千葉県労協や各地区の労福協と連携し、働く者同士が互いに助け合い協力しながら、地域福祉の向上をめざし取り組んでいます。

皆さんも「福祉」という言葉をよく耳にするかと思いますが、その意味は、「しあわせ」や「ゆたかさ」、すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を指すそうです。私たち千葉市地区労福協としても、構成組織の皆さんや地域の皆さんとともに、地域福祉の向上に向け、取り組んで参ります。

本年が皆様にとって、「ゆたかで幸せな一年」となりますようご祈念するとともに、労福協運動に対する引き続きのご協力をお願いし、新年のご挨拶と致します。

どうぞよろしく申し上げます。



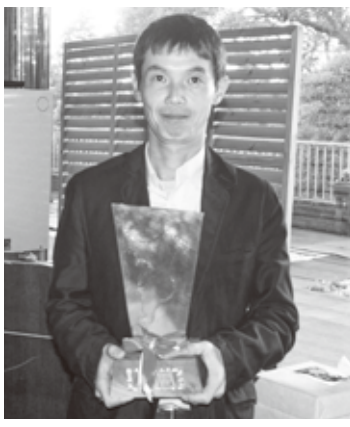
第32回 千葉県チャリティゴルフ大会

開催される!!

2015年10月26日(月)、真名カントリークラブで第32回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会が秋晴れのもと、32組122名の働く仲間の皆さんが集い開催されました。

ナイスショットに珍プレーとなごやかに大会が進み、プレー終了後の待ち時間を活用しての「パターゲーム」では、帷子洋一(連合千葉)が2年連続の優勝に輝きました。今回も多くの賞品を提供頂きました

勝され、団体の部は労福協・小川チームが2年連続の優勝に輝きました。今回も多くの賞品を提供頂きました



個人の部 初優勝! 木地順三さん

さん、橋本克己(運輸労連) さんが見事カップインを果たしました。表彰式も多くの皆さんに参加頂き、盛り上がりの中で成績発表がされました。個人の部は木地順三さんが初優勝

個人賞

優勝	木地 順三 (新日鐵住金労組)	グロス85、HC15.6、NET69.4
準優勝	小川 澄雄 (小川・元千葉テレビ)	グロス87、HC16.8、NET70.2
3位	山崎 弘行 (情報労連B)	グロス88、HC16.8、NET71.2
ベストパ	村越 路行 (市原市役所B)	スコア82

団体賞

優勝	労福協・小川チーム	NET220.4
準優勝	情報 労 連 B	NET221.0
3位	JAM東京千葉A	NET222.2



その他、パターゲーム賞、ニアピン賞、ドラコン賞 他

2015年度 マイナンバー制度・税務研修会



関口税理士

2015年11月7日(金) 全労済千葉県本部会議室において「2015年度マイナンバー制度・税務研修会」を開催しました。

今回は例年行っている「労働組合に関わる税務」に加え「マイナンバー制度」についての研修を行いました。特にマイナンバー制度への関心が高く、労働組合等58団体・86名の多くの皆さんに参加頂きました。講師の関口税理士から、「労働組合等の会計税務に関わる実務マニュアル」と「社会保障・税番号制度の対応について」他の資料に沿って分かりやすく講義して頂き、質疑応答を通し理解を深めました。また、研修会終了後には個別質問の時間を設け、多くの方に対しご指導を頂き、熱の入った有意義な研修会となりました。



労働団体、福祉団体、関係企業等に厚く御礼申し上げます。また、参加者全員と入賞者の皆さんからのチャリティ募金は、18万8千円となりました。社会的な福祉運動を展開している団体等へ寄付いたします。紙面を借りご協力を頂きました皆さまに感謝申し上げます。



団体の部 優勝 小川チーム

政策・制度を 千葉県に要請する!!



千葉県労福協は、政策活動として

「千葉県予算に対する政策・制度の要請」を行っています。8月理事会で方針決定して以降、中央労福協の政策、構成組織や連携団体からの政策要望等を受け止め議論を重ね10月の第13回理事会で取りまとめを行いました。千葉県に対しては、11月18日（水）千葉県庁において会長、副会長、常務理事の5名で商工労働部雇用労働課へ要請書の提出と要請内容の説明を行いました。あわせて、「2015年生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の一環として「生活困窮者自立支援制度の充実等に向けて（要請）」として政策制度の要請を実施しました。

【H28年度千葉県予算に対する要請内容】

①千葉県労働者福祉協議会についての要望、②連帯経済を促進する協同組合・協同組織の育成支援、③東日本大震災の被災者支援と復興・再生および災害対策、④労働者の生活安定に関する要請、⑤くらしの安全・安心について、⑥格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化、⑦消費者行政の充実強化、⑧多重債務対策、⑨フードバンク活動の促進

【生活困窮者自立支援制度の充実等に向けての要請内容】

①生活困窮者自立支援制度の充実と就労支援に向けた体制強化、②ナショナルミニマムの確保と生活の底上げ、③人間としての尊厳が保障され、利用しやすい生活保護制度への改善、④経済的理由で夢を断念させない ～ 教育・人材育成での機会均等

2015年度

労働者自主福祉運動シンポジウム 開催する!!



日本女子大学
高木郁郎名誉教授

2015年12月5日（土）、千葉県教育会館において「2015年度労働者自主福祉運動シンポジウム」が中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部、連合千葉、中央労金労組千葉統括支部、全労済労組東日本総支部千葉支部、共催により開催されました。

2012年度から開始した本シンポジウムは今回で4回目の開催となりました。日本女子大学の高木郁郎名誉教授をお招きし「連帯社会の担い手としての協同組合へ」その中での労働組合・労福協の役割と運動」のご講演を頂き、「労働金庫、全労済の歴史」のDVD放映、そして黒河会長より「連帯・協同でつくる安心と共生の福祉社会に向けて」労福協の活動と奨学金問題」と題して、労働運動・労働者自主福祉運動の歴史と理念に触れながら

現在取り組みを進めている「奨学金問題」の講演を頂き、最後に小柳常務理事による「千葉県労福協の活動紹介」が行われました。



奨学金制度の改善に向け署名活動を展開!!

千葉県労福協では中央労福協の方針を踏まえ全国の仲間とともに昨秋より奨学金問題の改善に向け署名活動等の取り組みを展開しています。

奨学金問題につきましては、今や大学生の2人にひとりが奨学金を利用しており、貧困にとどまらず、その返済の重荷が中間層の結婚や出産、子育てにまで影響を及ぼし始めています。また、奨学金を「借りざるを得ない」「返したくても返せない」問題の構造的な要因には、大学の学費の高騰に加え、不安定雇用や低賃金労働の拡大など「雇用破壊」が密接に関わっています。本取り組みにあたっては、給付型奨学金制度の導入などの制度改善とあわせて、奨学金問題の背景にある雇用問題への「気づき」を促すことも目標のひとつとして、労働団体等とも連携しながら取り組んでいるところです。

署名活動は1月末に集約する予定です。ぜひ、署名を通し社会全体の大きなうねりをつくっていきたいと思います。一層のご理解ご協力をお願いいたします。



連合千葉 第15回定期大会を開催する！

社会的うねりをつくりだす運動に一層注力し、 「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう！

連合千葉は、2015年10月23日（金）にオークラ千葉ホテルにおいて、執行部、代議員、特別代議員、傍聴者を合わせ192名の参加のもと、「連合千葉第15回定期大会」を開催しました。

今定期大会は、議長団に福田代議員（千教組）と有田代議員（JAM東京千葉）を選出し、議事運営を行いました。ご来賓挨拶では、連合木

村副事務局長、諸橋副知事、鈴木千葉市副市長をはじめ多くのご来賓より激励の言葉を頂戴しました。経過報告に続き、「2016年～2017年度運動方針」「2016年度予算」「役員改選」など、6つの議案について議論されました。代議員からは運動方針を補強する立場から、組織

【連合千葉の今後の活動】

第15回定期大会において、社会的うねりをつくりだす運動に一層注力し、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう！という運動方針が確認決定されました。これは、連合の運動が見えにくいことから、地域での運動により、連合運動の理解と浸透をはかり、組織強化と政策実現のための世論形成を構築するといった考え方です。それらの一部として、毎月15日を基本に「連合千葉の日」と位置づけ、街宣車を活用しての街宣行動を確実にしていきます。また、労働者保護ルール改悪阻止に向けた「STOP THE 格差社会 暮らしの底上げキャンペーン」等、世論を巻き込んだ運動を強化します。そして、千葉県内7つの地域協議会に結集する組合員の協力により、主要駅にて駅頭街宣行動を展開し、連合の企画する全国一斉労働相談や最低賃金の周知活動、さらには、さまざまな格差是正のアピール行動に取り組んでいきます。



拡大と社会的うねりについで意見の頂戴し、全体で方向性を確認し、すべての議案を満場一致で可決後、第24回参議院議員選挙に向けたテレビモニターと大会宣言を採択し、成功裡に閉会しました。

千葉地区全支店で女性セミナーを開催 中央ろうきん

千葉地区全支店にて、女性組合員の方々をご招待して様々なセミナーを開催しました。ご参加いただいた方から、<ろうきん>のイメージが変わり、これから相談しやすくなったと暖かいお言葉を頂きました。このセミナーを契機に、より身近な<ろうきん>を目指し、組合員の「生活応援運動」を推進していきます。



ボジョレーヌーボー解禁日翌日に
ワインセミナー開催！

花のまち館山で
フラワーアレンジメント体験



スキンケアとメイクの
ワンポイント術でより美しく！

働く女性の健康を！
アンチエイジングセミナー

ハロウィンに向けて
かぼちゃの置物作り

新年あけましておめでとうございませう。旧年中は千葉県労協をはじめ、連合千葉を中心とする労働組合、福祉事業団体の皆様に力強いご支援を賜り心より御礼を申し上げます。

「ハミングちば」は子育て支援を目的に、千葉県労協が市民との協同で2002年7月に設立し14年目を迎えます。

「ハミングちば」の名称は、ハミングの出るような明るい子育てが出来るように子育て支援を行なおうとして名付けました。子育ての隙間だけではなく心の隙間を埋められるような暖かな活動を行っていかうという理念のもとに取り組み、昨年12月時点で支援時間の累計が1万9百時間を超えました。長年に亘るお助け会員のボランティアによる地道なご努力により「ハミングちば」を支えて頂きました。

ハミングちば



**市民との協同による
子育て支援の推進を！**

NPO法人 子育て支援グループ「ハミングちば」
理事長 小柳 光 廣

子育て支援の環境も国や自治体等の取り組みが大きく前進し、支援数は減少傾向が続いています。また、「ハミングちば」の現況等も踏まえ「今後のあり方」について検討を進めていくところであります。「千葉市こどもプラン」を見ても、まだまだ、子育て支援の取り組みを必要としている皆さんが多くいるものと受け止めています。今年も身の丈に合った子育て支援と、担い手であるお助け会員の拡大をはかる取り組みを進めていきたいと思っております。

本年も「助け合い、支え合う」「人と人の絆」を大切に役員・お助け会員一丸となって取り組んでいきます。皆さまのご多幸をお祈り申し上げますとともに変わらぬご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

全労済千葉県本部主催 合同事務担当者研修会を開催

2015年11月6日（金）京葉銀行文化プラザ6階「櫛」において、合同事務担当者研修会を開催しました。当研修会には県下の各協力団体より55団体・65名の労済担当者・書記の方に出席いただき、2016年2月のマイカー共済制度改定や自動車補償の業界動向について理解を深めていただきました。



生活経済研究所長野 塚原 哲講師による
《自動車補償関連セミナー》

合同事務担当者研修会 次第

1. 《自動車補償関連セミナー》

講師 生活経済研究所長野 塚原 哲 氏

2. 《事務担当者研修会》

(1)2016年2月マイカー共済制度改定について

- ①制度改定の背景
- ②制度改定の概要
- ③制度改定に伴う諸対応について
- ④制度改定に伴う帳票・事務処理等の変更について
- ⑤今後の推進活動について

(2)適正な共済活動に関するお願いについて



松田職員による《事務担当者研修会》説明風景



平野職員による《事務担当者研修会》説明風景

マイカー共済 お見積りは全労済ホームページより

<http://www.zenrosai.coop/kyousai/mycar.html>

第26回

千葉県協同組合フェスティバル

「海と大地とくらしの祭典」開催



開会式 千葉県協同組合提携推進協議会の役員によるテープカット

10月25日(日曜日)、千葉ポートパーク円形広場において「第26回千葉県協同組合フェスティバル」が海と大地とくらしの祭典として開催されました。

10月25日(日曜日) 千葉ポートパーク

このフェスティバルは、千葉県内の協同組合の交流を図り、また県民に「協同組合」をアピールすることを目的に88年に初めて開催され、今年で第26回を迎えました。JA・漁協・森林組合・生協の4協同組合とNHK千葉放送局の主催団体および千葉県農林水産部、全労済千葉県本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会、千



ステージでは「手裏剣戦隊ニンニンジャーショー」や太鼓やダンスなどで賑わいました



たくさんの来場者で会場は賑わいました。



写真上左は子どもに人気のフアファ、右はJA女性部による手作り農産加工品の展示販売



食育クイズ



生協コーナー

葉県ユニセフ協会が出展参加しました。当日は、爽やかな秋晴れのもと、開会前より多くの参加者で賑わいました。農協コーナーでは、県産青果物や鉢花の販売、太巻き寿司の実演と販売、豚汁のチャリティー販売の他、手作り農産加工品の販売など多彩な企画がおこなわれ千葉の農産物をアピールしました。

森林組合のコーナーでは、栗・林産品・炭製品などの販売がおこなわれ、恒例の焼き椎茸の試食も好評でした。漁協コーナーでは、手巻きごはんの焼ハマグリ、サザエのつぼ焼き、さんま丸干し焼き、イカ焼きなど好評でした。

NHKのコーナーでは、「お家で野菜を育てよう!」ワークショップやNHKキャラクターふれあい広場が開催され、まめ運び競争がおこなわれました。



全労済千葉県本部・中央労金千葉県本部・千葉県労働者福祉協議会のコーナー

生協コーナーでは、パールシステム千葉、コープみらい、生活クラブ生協、なのな生協、全労済千葉県本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会が実行委員会を組織して準備をすすめて様々な企画を行い、どのコーナーも大好評でした。

千葉県ユニセフ協会コーナーでは、地雷レプリカの展示やユニセフ資料配布、子供用くじなどがおこなわれました。

千葉県農林水産部コーナーでは、お米で育てた畜産物の試食、県産農林水産物のPRなどがおこなわれました。

会場正面のステージでは、「手裏剣戦隊ニンニンジャー」ショーが子供たちの人気を集め、第1回から連続出演の「磯浜太鼓」の他、ジャズダンス「ナッツ&チャイルド」、「YOSAKOI連桜舞」、ダンス「花鳥風月」がフェスティバルの雰囲気盛り上げました。また今年「食育クイズ」が行われ大いに盛り上がり上位10名には豪華賞品が呈されました。

中央労福協第62回定期総会

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！

中央労福協

第62回 定期総会開催される!!

中央労福協第62回定期総会が2015年11月27日(金) ホテル ラングウッドにおいて開催され、2016～2017年度活動方針をはじめ、全ての議案が満場一致で承認決定されました。役員改選では古

賀前会長から神津新会長にバトンタッチされ、黒河副会長(東部ブロック会長)は留任されましたが、大幅な役員交代となりフレッシュな顔ぶれの新体制のもと新たな活動がスタートしました。



第62回定期総会スローガン

<メインスローガン>

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！

<サブ・スローガン>

- ◇若者を追い込む雇用劣化と“奨学金”問題を改善しよう！
- ◇生活・就労支援を強化し、生活困窮者自立支援制度を地域で支えよう！
- ◇みんなで労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げよう！

黒河会長・小松事務局長体制2年目がスタート!!

労働者福祉東部ブロック協議会 第50回 定期総会



2015年12月10日(木) 山梨県甲府市において労働者福祉東部ブロック協議会第50回定期総会が構成団体1都10県の地方労福協参加のもとに開催されました。黒河会長挨拶ではじまり、来賓として山梨県、中央労福協、事業団体から連帯の挨拶を頂きました。経過報告では、東部ブロック結成50周年に向け2014年5月に設置した組織財政検討委員会、50周年記念総会・記念事業検討委員会の答申が報告され承認されるとともに、議事は全て満場一致で承認され、黒河体制2年目の運動がスタートしました。総会後の記念講演では、「これからの労福協運動」と題し、中央労福協前事務局長の大塚敏夫氏よりご講演を頂きました。

2016年度活動方針(抜粋)

東部ブロックは、中央労福協が掲げる協同事業の基盤強化や共助拡大運動への「地域での拠点づくりモデル事業」や、制度化された「生活困窮者自立支援事業」にもしっかりと対峙し、「2020年ビジョン」の折り返し点に立っていることを十分に踏まえ、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の宣言のもと、ブロック労福協の中核との自負を持ち、固い絆と信頼関係の構築により課題や運動のあるべき姿を見据え、活力ある福祉社会の前進に具体的な諸施策を講じるなど大きく一步を踏み出します。

また、2017年2月に迎える50周年の記念行事なども控えるなか、2つの検討委員会が出された答申にもとづく活動を実践していきます。

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労協は、「地域創造ネットちば」、「協同労働の協同組合ネットワークちば」、「フードバンクちば」、「消費者行政充実ネットちば」、「貧困問題を考える懇談会」や「ひと・くらしサポートネットちば」等に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。
この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

おいしい たのしい 「ちばユニバーサル農業 フェスタ2015」が 開催されました！

2015年11月23日（土）四街道市文化センター（駐車場・前広場・屋内）で「ちばユニバーサル農業フェスタ2015」が開催されました。

さまざまな人々が農業を通じて、出会い、交流し、はたらきあう、新しい農業のかたち「ユニバーサル農業」の考えを広め、出会いの場を提供するた



駐車場会場



前広場会場



屋内会場



めに「ちばユニバーサル農業フェスタ」を企画し、国内有数の農業生産県である千葉県

る千葉県から、「農業の持つ可能性」や「農の価値」をアピールしました。当日は、曇天で寒空にもかかわらず、多くの出展者、来場者が参加し、家族連れで楽しめるイベントとなりました。参加団体は県内18市町から70を

超え、（福祉・作業所、農業事業所・会社、生協関連団体、NPO、地元四街道市の小学校、高等学校他）、2,500人の方々に来場いただき、「ユニバーサル農業」みんなで関わる農業」について発信し、出展団体同士、出展団体と来場者が、情報交換し交流する場となりました。

皆さまのご協力で10tを超える 食品が集まりました！ フードバンクちば 第11回フードドライブ

フードバンクちばは2012年5月の設立以来、余剰食品を福祉施設や、生活に困窮する世帯に提供してきました。特に最近では、高齢者や母子・父子家庭だけでなく、失業や疾病により収入がなくなってしまうため困窮し食品支援を求める方が増えています。「フードバンクちば」では各市の社会



福祉協議会や公共・民間の相談支援機関を通じて困窮する世帯への食品支援を行っています。食品は企業や一般家庭・農

家等から提供を受けるとともに、賞味期限があってもお使いにならない等の理由でご家庭に眠っている食品を一定の期間、県内に広く窓口を設けて回収するフードドライブを実施しています。受取窓口は地域でご協力を頂いている社会福祉協議会や支援機関と千葉県労協、野田地区労協が行っています。昨年9～10月にかけて実施した第11



回のフードドライブでは初めて10tを超える食品提供を頂きました。ご協力に感謝申し上げます。第12回フードドライブへのご協力をよろしくお願ひします。



第12回フードドライブ

2016年1月12日（火）～2月29日（月）

お問い合わせ

フードバンクちば TEL043(375)6804
千葉県労協 TEL043(241)6681

あけまして
おめでとうござい
ます。

あなたに、家族に、大切な人に贈る
ルクオ
Rukuo

〈ろうきん〉が、女性の幸せを願ってスタートさせた
新シリーズ、「Rukuo」。
その名前の中には、「贈る」という言葉が隠されています。
〈ろうきん〉の商品・サービスを通して、
あなたに素敵な未来をプレゼントできたらー。
そんな思いをこめ、花東を渡すような気持ちで、
そっとあなたにお届けします。

あなたが輝く、家族が喜ぶ、新商品誕生!

女性の皆さまへ
夢を叶える“未来のわたし”のために。

Rukuo
わたしの積立

満期日を決めない **エンドレス型** (エース積立
ライト型・スーパー型)

ネットで
24
時間

**残高確認 普通預金への振替、
余裕資金の臨時的預入れなどができます。**

※ご利用には別途、ろうきんダイレクトにご契約いただく必要があります。

**ご契約いただいた方に
選べるプレゼント**

**新規ご契約1件につき50円を
中央ろうきんが
ピンクリボン運動に寄与!**

- ★Rukuo オリジナルマルチケース
- ★バスベダル(入浴剤)
- ★RukuoXミントオリジナル折りたたみトートバッグ(A4対応)

※年間お積立額6万円以上となるご契約をいただいた方に1つプレゼント。

※ノベルティ・通帳ケースは数に限りがございます。
ご希望のノベルティ・デザインがお選びいただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

中央労働金庫千葉県本部 TEL : 043-251-5162

もしくは WEB サイトをご覧ください。 2016年1月1日現在

**頼れる補償をお望みの方も、
安全運転が長い方も、マイカー共済です。**

現実の人身傷害補償、対人・対物賠償補償、
 盗難の損害をしっかりカバーする【一般補償】などの
 幅広い補償に加え、さまざまな特約や割引制度を自由に組み合わせ、
 手頃な料金でニーズにあったプランをつくることができます。
 安全運転が長いほどお得な、無事故割引最大22等級、64%割引も。
 また、事故・盗難時のリポート体制は24時間365日受付で安心です。
 二輪自動車には、安心・手頃な【シンプルタイプ】をご用意しています。

カーライフを応援する、頼れる補償
マイカー共済
自動車総合補償共済

全国で最も評判の良い保険の会社として
 業界最高品質、顧客員の暮らしの安心とゆとり
 を実現し続けています。自動車共済は安心い
 たらがたい保険を具にできる、保険共済をご利用
 ください。

保障のこころを
全労済
全国労働者生活安定資金協会の傘下で運営

応援します! あなたの生活資金

千葉県労働者福祉資金融資制度

(中小企業労働者生活安定資金、育児・介護休業者生活安定資金、退職者生活安定資金)

中小企業にお勤めの方、育児・介護休業中の方、お仕事を探している方の生活の安定、子育て、介護等を応援する資金です。

**〔千葉県〕と〔ろうきん〕による
提携制度**で安心してご利用いただけます。

担保 保：不要!

利率 率：年1.5～2.2%
(+別途保証料0.8%要)

融資条件・申込方法など：
まずはお気軽にお電話ください

●お問合せ先
 〈県雇用労働課〉および〈中央ろうきん〉
 フリーダイヤルまたは県内各支店まで

●千葉県商工労働部雇用労働課
 ☎043-223-2743

●中央ろうきん(中央労働金庫)
 ☎0120-86-6956

千葉県

チーバくん